

県北広域振興局

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	道の駅いわて北三陸開業記念事業	久慈市	2,231,231	1,487,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	開業に際し、DBO事業者と役割を分担し、開業記念事業に取り組んだことにより、申請当初の想定から総事業費を低く抑えることができた。本事業で実施した渋滞対策により、今後の道の駅での大規模イベントの開催時や、施設の繁忙期等の渋滞対策の基礎を築くことができた。一般に、施設のオープン2年目以降は、来場者が減る傾向にあると言われることから、来場者の減少幅を少しでも少なくできるよう、情報誌の活用について、指定管理者と意見、情報を交換し、施設の誘客を計っていききたい。
2	ギンザケ養殖施設リース補助金	久慈市	5,333,000	3,555,000	5 市町村事業	6 農林水産業	1 ソフト	事業開始以降、着実に目標を上回る成果を上げている。ギンザケ養殖事業は、久慈市における新たなチャレンジであり、リスクを伴う事業であることから、事業開始直後の運営を支えるため引き続き補助事業により支援を行う。
3	洋野町昔ばなし絵本製作事業	洋野町	515,187	343,000	5 市町村事業	14 文化・スポーツ	1 ソフト	今回、約24年ぶりに発刊した町に伝わる昔ばなしによる「絵本」は、郷土愛の醸成や、アイデンティティーの形成に資するものとなったと考える。また、製作にあたってのノウハウの蓄積や協力体制の構築などこれからの取り組みに向けて大きな財産を残した。
4	“映える”ひろの発信プロジェクト	洋野町	3,509,990	2,339,000	5 市町村事業	3 観光産業	2 ハード	本事業で実施したフォトスポットの設置による効果については、令和6年度の観光入込客数等で評価するものがあるが、一方で交流・観光人口の増加或いは転入に結びつくためには、当該事業のほか様々な施策による総合的な取り組みが必要と考えていることから、当該事業もその一助となるものと考えている。今後の観光シーズンでの反響に期待しつつ、効果促進を併せて取り組んでいく。
5	萩の渡地区テレビ共同受信施設改修事業費補助金交付事業	洋野町	7,831,000	5,220,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	2 ハード	概ね事業計画どおりに完了することができたと考えている。施設改修後はどの世帯でも安定した受信レベルを確保できていることから伝送路の光化は大きな効果があったものとする。
6	おおのキャンパス案内誘導看板設置事業	洋野町	1,926,100	1,280,000	5 市町村事業	3 観光産業	2 ハード	令和5年度冬の取り組みであり、観光客の増加する夏場により大きな効果を期待する。三陸沿岸道路からの人の誘導に看板を活用していきたい。
7	胃がん間接的推測検査事業	野田村	0	0	5 市町村事業	7 地域医療・健康づくり	1 ソフト	新型コロナウイルスのワクチン接種に伴い、病院側の体制が整わず事業の実施が難しいため、ここ数年やむを得ず中止している。来年度以降は、少し違う視点での事業を行っていききたいと考えている。
8	十府ヶ浦海岸活用促進事業	野田村	3,520,000	2,346,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	地域の子どもたちをはじめとする村民が、地元の自然に安全に触れる環境を整備することによる地域への更なる愛着醸成と観光振興として、十府ヶ浦海岸を利用することによる野田村の認知度向上等の多面的効果があった。更なる地域への愛着醸成や認知度向上を目指し、継続して実施していく。
9	新スポーツ等による地域交流推進事業	野田村	1,000,000	666,000	5 市町村事業	14 文化・スポーツ	1 ソフト	スポーツ体験教室に親子での参加者が多くいることから、スポーツを交流ツールとして地域交流を推進していくことが効果的であると期待できる。また、四つ巴サークルソフトバレーボール大会は、競技の難易度が低いことから誰でもプレーができる一方、チームワークや戦略性も必要で、スポーツ交流に効果的である。さらに、村民体育大会種目にも採用されており、今後村の新たな定番スポーツとして定着することを期待している。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

10	多職種連携教育事業	野田村	1,499,080	999,000	5 市町村事業	7 地域医療・健康づくり	1 ソフト	本村で数多く行われている全国各地の大学によるフィールドワークの中でも、目的や参加のターゲットが明確なものであり、人材確保、関連団体との関係構築、交流人口など、多面的な効果が期待できる。効果の最大化を図る観点から、持続性の確保も考慮し進めるべき内容と評価する。
11	野田村管内図作成業務	野田村	1,144,000	762,000	5 市町村事業	9 防災・危機管理	1 ソフト	本事業で整備した管内図は、災害時や非常時以外でも防災訓練等で活用し、平時から地域防災力向上を図っていきたい。
12	「のだむら映画祭」開催事業	野田村	469,754	313,000	5 市町村事業	14 文化・スポーツ	1 ソフト	映画を通じ震災の記録・記憶を繋いでいくことができた。また、ゲストの写真家浅田政志氏によるオープニングトークなどでは映画「浅田家！」のそのあとの様子や村外の方々にも野田村の魅力を知っていただくことができたと感じる。 この野田村独自の縁を核とし、来年度以降も本イベントを継続・深化していきたい。
13	テレワーク施設活用促進事業	野田村	1,164,900	776,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	テレワーク・ワーケーションという、活動や滞在のエリアを全国各地に広げる可能性のある概念を具現化すべく、その滞在イメージを映像化したことで、様々な媒体やシーンでの活用が可能となり、今後の地域振興やタウンプロモーションのツールとしての活用が期待できる。
14	野田村パエリアプロジェクト	野田村	995,500	663,000	5 市町村事業	2 食産業	1 ソフト	試食イベントやパエリアコンテスト表彰式などをSNSで発信することで野田村パエリアを村外にPRでき、野田村パエリアの家庭やグループレベルでの浸透・定着化や認知度向上にもつなげることができた。 来年度以降も本イベントを継続・深化していきたい。
15	地方創生人材育成事業	野田村	740,300	493,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	これまでのアクションが地元青年団体や業務委託先であるNPO法人SETはもちろん、その交流層を巻き込み実行されることで、アイデア実現のモデルになり、地域づくりの原動力にもつなげる。 研修を通して、公私ともに繋がっていききたいと思える関係性が生まれた。「研修を最後までやり切った達成感が得られた」、「アクションを引き続き実践していく」、「今後も研修職員同士、協力していきたい」、「今回の研修を下の代にも繋いでいきたい」などの振り返りがあり、人材育成としても成功したものと考えている。 地域経営推進費を活用しての事業実施はこれが最後となるが、地域課題解決のアイデアづくりと実行できる人材を引き続き育成するとともに、これまでのアクションを発展させていきたい。
16	追手門学院大学との学官連携推進事業	普代村	720,774	480,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	学園祭当日は、親子での来場者が多く、ゆるキャラ等活用によりPR効果は絶大であったと感じる。一方で、運営ブースへの集客はあるものの特産品購入まで至らなかったことから、集客及び特産品を購入していただくための工夫が必要である。また、特産品等の村の魅力を発信していく必要がある。
17	ふだい荒磯太鼓30周年記念コンサート助成事業	普代村	1,997,000	1,330,000	5 市町村事業	14 文化・スポーツ	1 ソフト	創立30周年を迎え、例年にも増して精力的に活動し、村内外の各種イベントに出演し普代村を盛り上げていただいた。
18	「誇れる地域資源を生かした産業・文化・防災」総合情報発信事業	普代村	4,995,151	3,330,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	防災・伝承活動では、学生や一般の方など8団体を受け入れ、普代水門の紹介や震災の教訓を発信することができた。 ラジオ番組は、「青の国からふだいラジオ～Sound Story～」と題して、村の「音」をテーマに放送した。昨年はコロナ禍で、子どもたちへの取材が制限されていた分、今年は園児や小中学生の話題を積極的に放送した。また村の基幹産業である水産業に関わる話題(地引網体験や新巻鮭づくり体験)や伝統芸能(鶉鳥神楽例大祭やふだい荒磯太鼓30周年記念公演)、防災企画(村の防災の取り組み紹介や消防団長インタビュー)などを放送し、村内外へ村の生業や魅力を総合的に発信することができた。 東日本大震災から13年が経過したが、次年度も引き続き、村の誇れる産業や伝統文化、防災情報などを村内外へ発信するとともに、ラジオの普及促進にも努めていきたい。
19	普代村集会施設太陽光発電システム整備事業	普代村	5,830,000	3,886,000	5 市町村事業	9 防災・危機管理	2 ハード	自然エネルギーへの転換による二酸化炭素排出量削減と施設維持に係る地域負担の軽減が図られるとともに、今後の地域内のクリーンエネルギーへの理解醸成と普及促進が期待される。また、本施設における効果検証を踏まえた他施設への横展開も期待される。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

20	観光情報発信事業	二戸市	5,038,000	3,358,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	本事業の活用により、今後数年間にわたって活用が見込める総合観光パンフレットを制作することができた。今後は、市内を訪れた観光客の目に止まりやすい場所へ設置することで、より多くの方に手に取ってもらえるよう工夫したい。
21	岩谷橋橋詰広場観光ガイド板等整備事業	二戸市	1,914,000	1,276,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	岩谷橋供用開始を祝う記念式典に合わせてお披露目をし、各報道機関でも取り上げられた。完成年度及び工事期間が12月まで延長したため、事業実施による詳細な実績は不明な部分もあるが、今後の各施設への来場者数への波及効果が期待できる。
22	二戸市産業活性化促進事業	二戸市	3,000,000	2,000,000	5 市町村事業	2 食産業	1 ソフト	同日に他のイベントが多く開催されていた状況であったが、目標を上回ることができた。来年度実施する際は、日取りや周知方法などを見直し、より多くの方々に市内産業をPR出来るよう努めていきたい。
23	スポーツ交流促進事業	二戸市	3,089,900	1,476,000	5 市町村事業	14 文化・スポーツ	1 ソフト	フェンスが導入されたことにより、学童野球の規格に則した球場設営が可能となり、無事学童野球の東北ブロック大会を開催できた。 今後も引き続き野球大会を開催することで、地域間の交流の場を設け、地域活性につなげていく。
24	二戸市地域型次世代省エネ住宅推進事業	二戸市	2,100,000	1,400,000	5 市町村事業	10 環境	1 ソフト	「二戸型住宅」の補助を通じ、GX(グリーントランスフォーメーション)と地域経済及び地域産業の活性化を一定程度推進することが出来た。
25	社会科副読本作成事業	二戸市	2,310,000	1,540,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	社会科副読本の配布体制が整ったことで、児童が二戸市に対する理解を深め、次代を担う人材の育成に繋げることができた。
26	健康・体力づくり活動推進事業	軽米町	6,103,878	4,069,000	5 市町村事業	14 文化・スポーツ	1 ソフト	本事業において、機器を導入したことにより、トレーニング・フィットネスルームの利用増のほか、センター内の図書館へ立ち寄る利用者が増えるなど、副次的な効果もあった。 今後も利用者ニーズを把握しながら、備品等の整備、体力づくり事業の実施を図り、町民の体力づくりを推進して参りたい。
27	子育て支援拠点整備事業	軽米町	3,223,550	2,072,000	5 市町村事業	8 子育て・福祉	2 ハード	土日開設日とする事により、利用者増となった。今後は各種行事、教室等の開催日程を見直す等により、更に利用しなくなる施設づくりを目指したい。
28	レンタサイクル導入事業	軽米町	1,541,000	1,027,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	利用開始時期が、町のメインのイベントである4月下旬から5月中旬のチューリップフェスティバル終了後であったが、町内の宿泊施設等の協力により、町外の利用者数は短期間でも概ね目標まで利用者数を伸ばすことが出来た。 しかし、町内利用者数の獲得に関しては、厳しい結果となった。主な移動手段は車である町民の利用者数を伸ばすのは難しく、目標値の設定が甘かったと思われる。継続利用する場合は、目標値の見直しが必要である。 夏に見込まれていた映画「ハイキュー!!」の公開が2月になった。予想通り映画公開後は、まだ寒さが残る時期にもかかわらず、公開翌日からファンが街中に見えていた。春休みの期間に入ってからファンが増えていることから、利用開始時期を早めることで来年度以降も利用者数は見込める。
29	高齢者等ごみ出し支援事業	軽米町	777,600	518,000	5 市町村事業	8 子育て・福祉	1 ソフト	ケアマネジャーや民生委員等との連絡を密にし、対象者の把握に努め、事業の周知等を行いながらサービス利用者の増加を図ることとしたい。
30	九戸村消費喚起事業	九戸村	3,200,000	2,133,000	5 市町村事業	2 食産業	1 ソフト	今回の補助事業により村内事業者の負担を軽減しつつ、村内での消費拡大やポイントカードの活用による好循環を生み出すことができた。 今後も村内での消費拡大につながる事業を展開していきたい。
31	郷土芸能推進事業	九戸村	3,750,000	2,500,000	5 市町村事業	14 文化・スポーツ	1 ソフト	人口減少によって郷土芸能の活動人口は減っていく一方であり、後継者の育成は必要不可欠なものとする。また、技術や知識を伝承する機会の確保だけでなく、興味を持たせることで若い世代の関心を引かせていくことがさらに重要になってくるのではないかと考える。
32	観光施設集客促進事業	九戸村	1,114,539	743,000	5 市町村事業	6 農林水産業	1 ソフト	今回の事業で実施したオドデフェスタや農産物のブランド化を通じたPR活動による集客効果は十分あったと考えられる。 今後も同様のイベントや農産物のブランド化によるPR活動を継続し、オドデ館の売上高をさらに伸ばしていきたい。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

33	一戸町観光地周遊看板整備事業	一戸町	9,900,000	4,871,000	5 市町村事業	3 観光産業	2 ハード	今年度で観光地周遊看板整備事業は終了となるが、町の観光地等の状況を見ながら、必要に応じて看板等の環境を整備していきたい。
34	いちのへまるごとフードフェスタ	一戸町	1,300,000	866,000	5 市町村事業	2 食産業	1 ソフト	好天に恵まれ、昨年度よりも多くのお客様に御来場いただき、良いPRの場となった。今後は、町内事業者の更なる出店を促すとともに、PRにも力を入れ、食産業の振興を図っていく。
35	一戸町若者地域活性化アクション支援事業	一戸町	3,229,600	2,153,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	高校での伴走支援では、総合的な探究の時間において、先生方や生徒と地元を結ぶ繋ぎ役として、生徒がやりたいことを見つけ、まとめ上げるための支援を行った。このことで生徒のみならず、先生方の手助けに繋がり、また先生方からの後押しも得られ、夏休みの短期集中プログラムやそれ以降のプログラム参加者増加に弾みがついた。実際に会って話す機会以外は、オンラインセッションを中心とした相談、打合せを進めており、地域の方との関わりという面で少し物足りなさを感じている。 また、イベント等を行う場合の告知について、周知する対象を考えた方法や周知期間を考慮したものとなっていないものがあり、事業者としてスケジュール管理などフォロー体制の改善が望まれる。反省点はいくつかあるものの、発表会における高校生の堂々とした発表は見応えがあり、その後の交流会では、参加町民から期待の声がかたがたに聞かれ、交流会後の高校生の感想からは自信に繋がっていることが窺われたことはこの事業のひとつの成果と感じる。2年目以降は、中学生を含め多くの参加者に参加してもらうため、奥中山地区にも拠点を開設し充実させていきたい。
36	いわてIT人材育成モデル導入準備事業	一戸町	102,356	50,000	5 市町村事業	5 雇用環境の整備	1 ソフト	デジタル人材の育成及び地域への人材の還流(二戸地域への就業・定着)に向けた取組について、地域企業や関係機関等と一体となって調査・研究を行い、具体的に取り組むべき内容について提言し、令和6年度からの実施につなげることを目的として事業を推進した。最終報告では、具体的取組方策として、①経営DX+人材DX支援事業、②カシオペア地域まるごとマイスター・スクール構想、③産業・職業教育の場の拡充の3項目を提言としてまとめ、令和6年度から取り組むこととしている。
37	太古ロマンのまちづくり推進事業	久慈市	1,373,163	915,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	成果指標は目標に達していないが、太古ロマンのまちづくりについて市民の認知度の向上は図られている。市民センター事業として、恐竜化石の状況について講演会を依頼され、市民のワークショップを開催することができた。引き続き子供から大人まで認知を広め、市民の自主性を引き出すことによりさらに効果的に事業を実施していく。
38	野田村フォトロゲイニング事業	野田村	500,000	333,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	村外からの参加者に対して野田村の魅力を知ってもらうことができた。また、村内参加者は、車でしか通らない道や実際に訪れてみることの少ない箇所等の日常生活では知らない野田村の魅力を知っていただくことができた。 今後も村内外の参加者に野田村の魅力を発見・再認識していただくため、継続して実施していく。
39	震災学習モデルコース造成事業	野田村	1,943,190	1,295,000	5 市町村事業	9 防災・危機管理	1 ソフト	全体として予定どおり事業を実施することが出来た。学校教育現場の復興教育ニーズに応えるだけでなく、大学のフィールドワーク、各地の町内会組織や自主防災組織の行事、企業研修などと連携した結果、モニターツアー以外の事例も含めれば年間で23団体(参加総数約800人)の震災学習受入れがあり、観光、交流、タウンプロモーションなど、様々な波及効果につながった。
40	震災伝承アーカイブ事業	野田村	1,070,300	713,000	5 市町村事業	9 防災・危機管理	1 ソフト	被災写真のデジタル複写は完了した。 地域経営推進費を活用しての事業実施はこれが最後となったが、返却がなされていない写真はまだ多数あることから、引き続き被災写真の返却に向けて取り組んでいく予定である。
41	道の駅青の国ふだい開業周年記念イベント支援事業	普代村	500,000	333,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	村の総合防災訓練と同日(9/24)開催となり防災意識を高めるためのイベントとしての効果は高いが、一方で総合防災訓練への参加により村内小中学校生のステージ出演や来場に支障を来す状況にもあることから開催日を検討する必要がある。また、陸上自衛隊の当初予定の催しも県内での新型コロナウイルス感染者の増加により中止となった。その他、三陸鉄道普代駅の立地を生かした三陸鉄道(株)との連携、親子を集客するための工夫など情報収集する必要がある。
42	久慈地域「海の幸」販売拡大プロモーション事業	久慈市	156,000	104,000	5 市町村事業	6 農林水産業	1 ソフト	久慈管内4市町村によるPRイベントを通じ、来場者に対する地域水産物の周知・PRに繋げることができたと捉えている。
43	久慈地域「海の幸」販売拡大プロモーション事業	普代村	156,000	104,000	5 市町村事業	6 農林水産業	1 ソフト	久慈地域の水産物の知名度が向上し、久慈地域内外からたくさんの来場者が訪れ良いPRの場となった。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

44	久慈地域「海の幸」販売拡大プロモーション事業	野田村	156,000	104,000	5 市町村事業	6 農林水産業	1 ソフト	広域道の駅において久慈地域の水産物を一堂にPRした企画であり、コロナ禍で停滞していた消費者への販促活動が再開できたことは今後のPR活動においてその手段等の検討材料になったと考えられる。今後、PR協議会が独自で販促活動を検討し、再開するため本事業が契機となったと考える。
45	久慈地域「海の幸」販売拡大プロモーション事業	洋野町	156,000	104,000	5 市町村事業	6 農林水産業	1 ソフト	補助先団体の設置目的である久慈地域の水産物のPRを支援することができた。アフターコロナの対面イベント再開の契機になったものとする。
46	地域連携による餌料海藻確保対策事業	野田村	169,000	112,000	5 市町村事業	6 農林水産業	1 ソフト	成育状況等から目標値に達しなかったが、今後の餌料海藻の確保対策は、広域的な課題となっていくことが考えられる。広域的な安定的な供給体制が構築されるまでの間、継続支援は必要と考える。
47	地域連携による餌料海藻確保対策事業	洋野町	388,000	258,000	5 市町村事業	6 農林水産業	1 ソフト	令和6年度も磯焼けの進行等による餌料不足が見込まれており、事業の継続により餌料海藻の確保と養殖技術の向上に取り組むたい。
48	地域の魅力を伝える「いわてカシオペアブランド」発信・交流事業	二戸市	518,102	345,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	新型コロナウイルスの第5類への移行に伴う人々の活動の再開に合わせてイベントを企画し、多くの方に参加をいただき、その後の地域内事業者店舗への来店といった波及効果を生むことができた。また、SNSのフォロワーも順調に増加しており、ファン獲得が図られているものと評価している。一方で、情報発信に係るインフルエンサーの獲得や協議会員(協力者)の確保が課題であるため、地域内事業者へ利益が出る事業を展開し、協力者を増加させていきたい。
49	地域の魅力を伝える「いわてカシオペアブランド」発信・交流事業	軽米町	171,325	114,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	新型コロナウイルスの第5類への移行に伴う人々の活動の再開に合わせてイベントを企画し、多くの方に参加をいただき、その後の地域内事業者店舗への来店といった波及効果を生むことができた。また、SNSのフォロワーも順調に増加しており、ファン獲得が図られているものと評価している。一方で、情報発信に係るインフルエンサーの獲得や協議会員(協力者)の確保が課題であるため、地域内事業者へ利益が出る事業を展開し、協力者を増加させていきたい。
50	地域の魅力を伝える「いわてカシオペアブランド」発信・交流事業	九戸村	109,400	72,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	新型コロナウイルスの第5類への移行に伴う人々の活動の再開に合わせてイベントを企画し、多くの方に参加をいただき、その後の地域内事業者店舗への来店といった波及効果を生むことができた。また、SNSのフォロワーも順調に増加しており、ファン獲得が図られているものと評価している。一方で、情報発信に係るインフルエンサーの獲得や協議会員(協力者)の確保が課題であるため、地域内事業者へ利益が出る事業を展開し、協力者を増加させていきたい。
51	地域の魅力を伝える「いわてカシオペアブランド」発信・交流事業	一戸町	233,249	155,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	新型コロナウイルスの第5類への移行に伴う人々の活動の再開に合わせてイベントを企画し、多くの方に参加をいただき、その後の地域内事業者店舗への来店といった波及効果を生むことができた。また、SNSのフォロワーも順調に増加しており、ファン獲得が図られているものと評価している。一方で、情報発信に係るインフルエンサーの獲得や協議会員(協力者)の確保が課題であるため、地域内事業者へ利益が出る事業を展開し、協力者を増加させていきたい。
52	若年者定着促進事業	二戸市	1,324,576	883,000	5 市町村事業	5 雇用環境の整備	1 ソフト	高校生向けのイベントでの参加企業数は目標を上回ることはできたが、高校生の地元就職率は目標を達成することができなかった。 来年度は、日取りや周知方法などを見直し、より多くの方々に地域内産業をPR出来るよう努めていきたい。
53	若年者定着促進事業	軽米町	399,872	266,000	5 市町村事業	5 雇用環境の整備	1 ソフト	高校生向けのイベントでの参加企業数は目標を上回ることはできたが、高校生の地元就職率は目標を達成することができなかった。 来年度は、日取りや周知方法などを見直し、より多くの方々に地域内産業をPR出来るよう努めていきたい。
54	若年者定着促進事業	九戸村	224,928	149,000	5 市町村事業	5 雇用環境の整備	1 ソフト	高校生向けのイベントでの参加企業数は目標を上回ることはできたが、高校生の地元就職率は目標を達成することができなかった。 来年度は、日取りや周知方法などを見直し、より多くの方々に地域内産業をPR出来るよう努めていきたい。
55	若年者定着促進事業	一戸町	549,824	366,000	5 市町村事業	5 雇用環境の整備	1 ソフト	高校生向けのイベントでの参加企業数は目標を上回ることはできたが、高校生の地元就職率は目標を達成することができなかった。 来年度は、日取りや周知方法などを見直し、より多くの方々に地域内産業をPR出来るよう努めていきたい。
合 計			107,216,319	69,045,000				